

對に反對す』等々頗る暴謔な決議をなし、猶八月二日、九日には右の決議を其の儘にして置いて、總聯合促進演説會の名を冠つて總同盟攻撃の演説をした。

一方東京の組合同盟會の人々は『労働運動』『労働週報』等で曲筆を弄して總同盟及總同盟幹部を誹謔中傷し、不誠實なる挑戦的態度を表白した。

我等は疑つた從來の感情や行き挂りを打ち捨て、御互に出来るだけ相手の感情を悪くしない様に互談の精神を以て進まねばならない時に此の暴謔なる態度を示すのは如何した事だらう。彼等組合同盟會の人々は眞に労働階級全體の爲めに總聯合の成立を希つてゐるのでは無くて此の機會を利用して總同盟を分裂せしめんとするのではないか。

然しながら我等は彼等の中に少數の、行きがかりや感情に因れてゐるものがあつてもコチラさへ誠意を以て迎へるならば、労働階級全體の爲めの總聯合は成立せしめ得るであらう。至てを忍んで來た。長い間、資本家と協力して労働運動を防害し來つた、大阪鐵工組合をすら赦さんじた。それは創立大會も日曜の間に迫つてゐた時、九月十六日の第四回定期總會に於て我等は日本の労働組合總聯合に大阪鐵工組合が加盟する事の反対決議をしてゐた事であつた。

而してこれが創立大會的一大暗礁であつたことを知つた。

我等は總聯合の成立を望んでやまなかつた。大阪鐵工組合を除外せんとする事の爲に總聯合が決裂すべしとは思ひ及ばなかつたのである。處が協調主義の御用組合たる大阪鐵工組合に無政府主義的傾向を有する二三の組合が盲目的に援護して居る事であつた。

之が爲九月一十九日夜、共産社に緊急代議員會を開催し前決議を遂行すべきか總聯合の爲に一時決議の實行を保留すべきかを慎重協議する事になり、遂に萬斛の涙を飲んで一時決議の實行を保留する事に決した。

又東京松本亭の準備委員會にて残されたる問題について總聯合成立の暗礁となつてゐた理事制の問題に就ても、正進、信友の諸君が一組合一名説は断じて譲らんと頑張つてゐるに對してコチラでは互譲の精神に基づいて修正案を作製し以て大會までに協調しやうとした。此れと同時に東京の機械聯合會の人々も修正案を作製したが圖らずも彼の修正案は非常に接近してゐた。正進、信友の人々も同問會のみ頑張つては孤立の状態となるので機械聯合の案にシヅく賛成したさうである。斯くて總聯合成立の二つの暗礁は除程緩和されてゐたのであつたが卅日の創立大會は一つの出来事の爲めに、一變し形勢は非常に険悪となつた。一つの出来事とは何か。

去る九月十日の準備委員會の決議に漏れてゐた傍聴者の事に就て會場の事を一任されてゐる在阪